タブレット型端末対応総合的学習支援システム「レクチャーエイド 2」

第3部 ドリル・テスト作成マニュアル



日本アイビルソフト株式会社

1.	問題管理	1
	(1) 問題の分類について	2
	(2)項目管理	3
	① 登録する階層を指定する(大項目)	3
	② 項目 No を入力	4
	③ 項目名を入力	4
	④ 大項目を登録する	4
	⑤ 登録する階層を指定する(中項目)	4
	⑥ 中項目の入力	5
	⑦ 項目の修正	5
	(3) 新しく問題を登録する	6
	① 大中小項目の選択	6
	② 項目の追加	6
	③ 形式の選択	6
	④ 子問題の設定	6
	⑤ 問の入力	7
	⑥ 選択肢数の選択	7
	⑦ 選択肢の入力	7
	⑧ 部分点	8
	9 正解の指定	8
	⑩ 解説の入力	8
	① プレビュー	8
	⑫ 登録	8
	(4) 形式による詳細	9
	① 正誤式	9
	② 穴埋め式	9
	(5) 部分点	11
	(6) 複数問題	13
	1.全体像	13
	2.子問題の作り方	14
	3.親問題の作り方	14
	4.子問題の選択	15
	5.配点の決定から登録	16
2.	テスト登録	16
	① 新しくテストを登録する	
	② バスケットを空にする	
	③ バスケットに入れる	
	④ コンテンツの修正	
	⑤削除	

	(1))テストの基本的事項の登録	18
	1	タイトル	18
	2	テストに関する内容	18
	3	配点の小数点	19
	4	問題のシャッフル	19
	(5)	解説等の表示	19
	6	登録	19
	(2))テスト問題の割り当て	19
	1	第1問を登録する	20
	2	既存の問題から追加する	20
	3	問題を検索する	20
	4	該当する問題をチェックする	21
	(5)	追加する	21
	6	Q 1 の確認	22
	7	問題を外す	22
	8	完了処理	22
	9	基本的事項の編集	22
3.	. ド	リル登録	23
	1	新しくドリルを登録する	23
	2	バスケットを空にする	23
	3	バスケットに入れる	23
	4	削除	23
	(5)	コンテンツの修正	23
	(1))ドリルの基本的事項の登録	24
	1	タイトル	24
	2	ドリルに関する内容	24
	3	合格ライン	24
	4	問題のシャッフル	25
	(5)	解説等の表示	25
	6	登録	25
	(2))ドリル問題の割り当て	25

1. 問題管理



「準備画面メニュー」→「問題管理」

	項目管理	問題の分類項目(大・中・小項目)を登録する。
	問題管理	テストとドリルの問題を作成する。ここではテストとドリルは区別されない。
		大中小項目、問題の形式(正誤・選択・複数選択・穴埋め・複数問題)を指定
日日日本 公共日		し、問題・解説などを登録する。複数問題形式は、問題に対して複数の子問題
問題管理		がある形式である。子問題から先に作成し、大問題を作成するときに関連付け
		る。修正した場合は、実施中のテストやドリルの問題も修正される。
	ダウンロード・一	CSV ファイルでの一括登録、ダウンロードができる。
	括登録	



(1) 問題の分類について

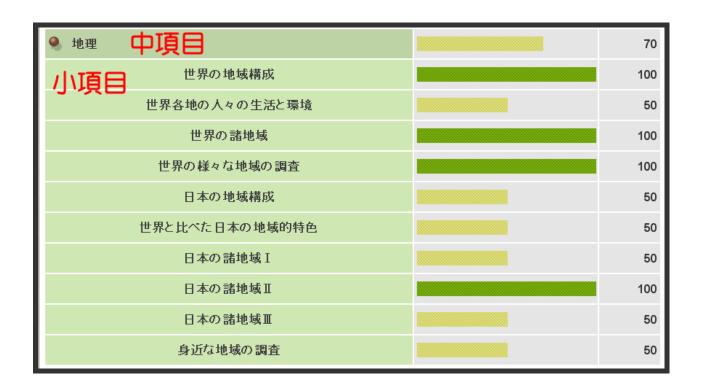
ドリルとテストの問題は、問題ごとに大項目、中項目、小項目で分類します。そのための分類項目の登録が必要です



テストやドリルを作成するときに、小項目に複数の問題が存在する場合は、ランダムに問題を表示できます。また、例えば、問1と問2を同じ小項目から出題するように指定すると、同じ問題が出題されないようになっています。

なお、ドリルでは、表示する問題がなくなるまで正解した問題以外からランダムに出題します。

ドリルの場合は、分類別正答率が、次のように中項目ごとに小項目の達成度として表示されます。



(2)項目管理

項目管理では、大中小項目の関係は画面の右側に階層構造で示されます。



項目管理を選ぶと次のような画面が開きます。(未登録の状態)



① 登録する階層を指定する (大項目)

大項目を登録する場合は、_root を選びます。

② 項目 No を入力

項目を表す記号を4文字以内の半角英数文字で入力します。科目グループ内では重複は許されません。

③ 項目名を入力

大項目名を入力します。同じ項目 No 内では重複は許されませんが、項目 No が異なる場合は同じ名前があっても問題はありません。

④ 大項目を登録する

登録ボタンを選びます。

登録すると次の画面が開きます。中項目の登録と大項目の修正画面です。



⑤ 登録する階層を指定する(中項目)

中項目を登録する場合は、大項目を選びます。

⑥ 中項目の入力

大項目の場合と同様に、項目 No、項目名を入力して登録を選びます。 登録すると次のような画面が開き、中項目①を選ぶことで小項目の入力ができます。



⑦ 項目の修正

選んだ項目を削除したり項目の内容を編集できます。

(3)新しく問題を登録する



① 大中小項目の選択

項目管理で登録した、大項目・中項目・小項目の中から該当する項目を選びます。

② 項目の追加

もし登録していない項目があれば、「追加」ボタンを選ぶことで直接、登録できます。

③ 形式の選択

問題の形式は、正誤式、選択式、複数選択式、穴埋め式、複数問題式のどれかを選びます。 複数問題式は、大きな設問があり、その後に複数の子問題がある場合です。複数問題式は、子問題か ら先に作成し、最後に複数問題式を選び関連付けをします。

④ 子問題の設定

複数問題式の子問題を作成する場合は、チェックを入れます。

⑤ 問の入力

問題の問の部分を入力します。



⑥ 選択肢数の選択

⑦ 選択肢の入力

選択肢数を選ぶと、その数に応じた入力欄が開きます。選択肢を入力します。

8 部分点	部分点なし 部分点あり
8 部分点	 選択肢2 選択肢3 選択肢4

⑧ 部分点

「部分点あり」か「部分点なし」を選びます。部分点については(5)で説明します。

9 正解の指定

選択式の場合は、ラジオボタンが表示されるので、どの選択肢が正解かを指定します。 複数選択式の場合は、チェックボックスが表示されるので、正解の選択肢をすべて選びます。



⑩ 解説の入力

ヒントや解説を入力します。テストやドリル問題を作るときに解説を表示するしないを指定します。

① プレビュー

作成した問題を表示してみることができます。



① 登録

完成したら登録を選びます。

(4)形式による詳細

① 正誤式

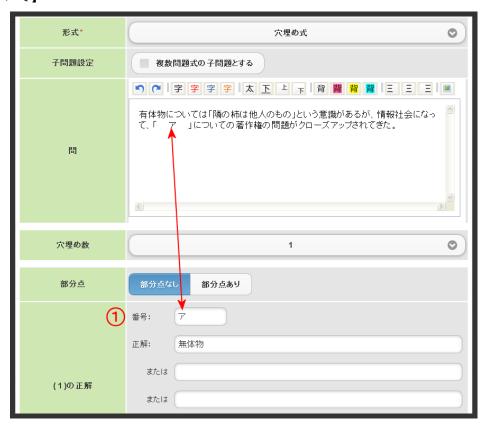
【正解の指定方法】



問の内容が、正しいか間違っているかを「正解」で指定する。文が誤りの場合は○を、文が誤りの場合は×を選ぶ。

② 穴埋め式

【文中で用いる記号について】



①「番号」は、問の文中で用いる記号を入力する。

【回答が順不同の場合】



①順不同の場合は「ON」を選ぶ。

(5)部分点

部分点をつけたい場合は「部分点あり」を選ぶ。

問題に対する配点は、問題作成では指定しない。配点は、ドリルとテストの作成時に指定する。

【選択式の場合】



正解の選択肢のウェートが配点の基準になる。

図では、選択肢2が正解で、これを選べば配点どおりで、選択肢3を選べば、 正解のウェートの半分なので、配点の半分の点が付く。この場合、ウェートを 「0、2、1」と入力してもよい。

【複数選択式の場合】

部分点	部分点なし 部分点あり
正解	選択肢1 -100
	選択肢3選択肢4

図では、選択肢2と選択肢3を選んだ場合が正解である。

複数選択式の場合は、正しい選択肢を選んだ場合のウェートの合計が基準になる。 基準になれば配点どおりの点になる。

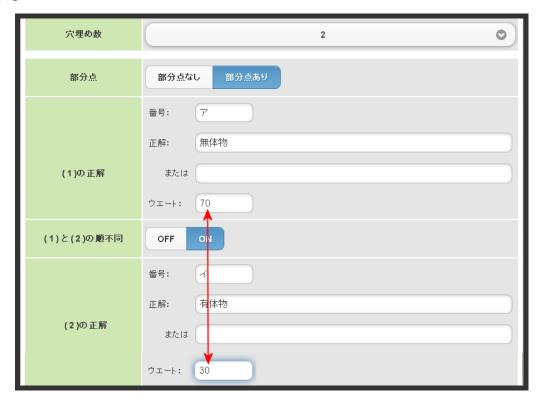
図の設定の場合、選択肢2か選択肢3のどちらかだけを選んだ場合は、ウェートが50で、基準100の半分なので、配点の半分の点が付き、両方を選ぶと配点どおりになる。

しかし、選択肢 1 と選択肢 2 と選択肢 3 を選んだ場合は、選択肢 1 のウェートが -100 になっているのでウェートの合計が 0 になり、0 点になる。また、選択肢 2 と選択肢 3 と選択肢 4 を選んだ場合は、選択肢 4 のウェートが -50 になっているので 50+50-50=50 で配点の半分になる。

すべての選択肢を選んだ場合は、ウェートの合計が -50 になるが、減点はされず に 0 点になる。

この場合、ウェートを、「-2、1、1、-1」 と入力してもよい。

【穴埋め式の場合】

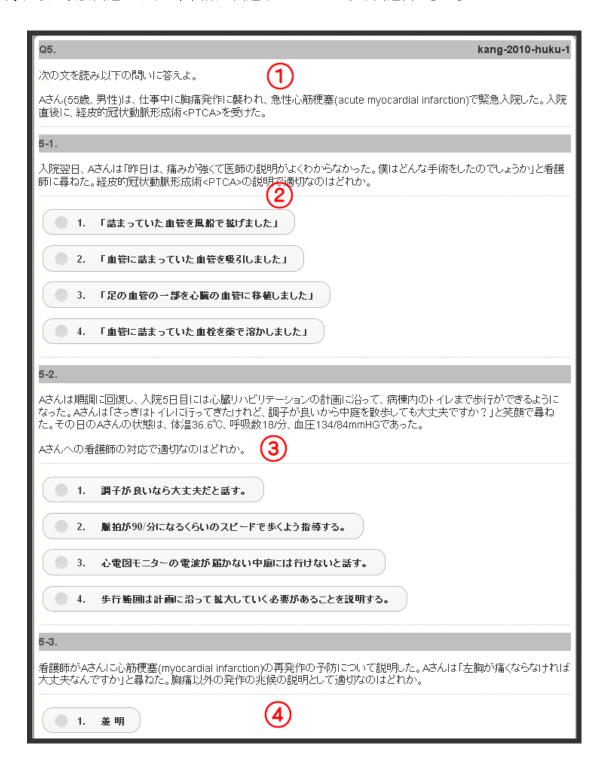


穴埋め式問題で、解答が 2 つ以上ある場合は、ウェートの割合に従ってそれぞれの配点を決めることができる。図では、(1) が正解の場合、配点の 7 割、(2) が正解の場合、配点の 3 割を与える。この場合、7、3」と入力してもよい。

(6)複数問題

1. 全体像

複数問題とは、次のように最初に説明があり、それについての小問題が続くようなものをさす。例は、 看護土の国家試験の状況問題であるが、国語の問題などにこのような問題例が多い。



このシステムでは、①を親問題、②~④を子問題と呼ぶ。

問題の作成は子問題から先に作成し、最後の親問題を作り子問題を関連付ける。 親問題は説明のみで、質問は存在しない。

2. 子問題の作り方

子問題の作成は、問題の作成時に「子問題設定」にチェックを入れておくだけで、一般の問題作成と同じである。



3. 親問題の作り方



- ①形式で「複数問題式」を選び、②親問題の問を書く。親問題には質問はない。
- ③ 子問題の数を決め、④「子問題を選択する」を選ぶと、新しい窓が開く。

4. 子問題の選択



- ①子問題の検索条件を入力し、②検索ボタンを選ぶ。子問題が少ない場合は、検索条件を入力せずに検索ボタンを選んでもよい。
- ③このボタンを選ぶと検索項目の欄は閉じる。



④子問題を選ぶ。選ぶ順番に子問題が並ぶ。選んだら×印で窓を閉じる。

5. 配点の決定から登録



- ⑤子問題の配点のウェートを決める。指示したウェートの割合に配点が配分される。
- ⑥プレビューで複数問題の全体像を確認する。
- ⑦登録する。
- ⑧子問題を選びなおすときに選択する。

2. テスト登録



「準備画面メニュー」→「テスト登録」

テストの基本的事項の登録と問題を割り当てる。 基本的事項:タイトルと満点、合格点、制限回数、制限時間、問題数、配点の 表示方法、問題のシャッフル、フィードバック(正誤・正解・解説)を登録し、問 題を割り当てる画面に移動する。 テスト登録 問題の割り当て: 各問題番号ごとに問題のデータベースから問題を割り当て る。複数の問題を割り当てた場合は未実施問題・誤答問題からランダムに出題 される。



① 新しくテストを登録する

「新しくテストを登録する」を選ぶと、新規作成画面が開く。

② バスケットを空にする

前回の授業で使ったバスケットを空にする。

③ バスケットに入れる

バスケットに入れるコンテンツをチェックして、「バスケットに入れる」を選ぶ。

④ コンテンツの修正

タイトルのリンクを選ぶとテストの詳細が表示され修正ができる。

⑤削除

チェックを入れたテストを削除する。テストが使用中のときはチェックが入っている。

(1) テストの基本的事項の登録



① タイトル

テストの名称を入力する。このタイトルがテストの名称になる。

② テストに関する内容

テストに関する全体的な説明や注意、制限回数や時間など、あらかじめテストを受ける者に連絡する ことを入力する。

③ 配点の小数点

配点の小数点とは、テスト全体の配点が 100 点であっても、問題数や部分点などの条件で整数にならない場合がある。その場合、整数表示をするか小数点第一位まで表示するかを指定する。

④ 問題のシャッフル

シャッフルしない場合は、あらかじめ登録した順に第1問から出題。シャッフルする場合は、ランダムに出題する。

⑤ 解説等の表示

自動採点した後に、KR情報として正誤、正解、解説を出す事ができる。テストにおいては1回しか受験できない場合や何度も繰り返し受験できる場合など、テストの意図に従って選択する。

6) 登録

基本的な事項の入力が終わったら「登録」を選び、問題の選択画面に移動する。

(2) テスト問題の割り当て



① 第1問を登録する

Q1の「未登録」のリンクを選ぶ。

② 既存の問題から追加する

すでに登録した問題から選ぶ場合は、「既存の問題から追加する」を選ぶ。



③ 問題を検索する

検索する画面が表示される。

検索項目は、大項目、中項目、小項目、問題形式、問題No、登録者/更新者名、登録日/更新日から検索できる。

問題Noは、問題を作成したときに、大項目-中項目-小項目-問題の順に記号(rinr-no01-l01-6)が付けられる。部分一致であるので、記号の一部を入力することもできる。

登録日/更新日については、何日から何日ぐらいまでに登録した問題というように、開始月日と終了 月日を選ぶ。

問題数が少ない場合は、何も入力しないで「検索」を選んでもよいが、大項目・中項目・小項目を選 ぶのが一般的である。

	形式	No	問	更新者名	更新日
	複数 問題 式	rinr-no01-l02-4	総理府内閣総理大臣官房広報室が発表している国民生活に関する世論調査では、、「心の豊かさ、物の豊かさ」について継続して調査をしているが、そのことについて以下の問いに答えなさい。	ictteacher	2012/08/09
	-		(色Uでもでい)。		
☑ ;	選択式	rinr-no01-l01-6	狩猟社会を支えた技術につい て、誤っているものを選びなさ い。	ictteacher	2013/02/01
	選択 式	rinr-no01-l01-7	農業社会を支えた技術につい て、誤っているものを選びなさ い。	ictteacher	2013/02/01
問題1に追加する					

④ 該当する問題をチェックする

問1と関連付ける問題にチェックを入れる。複数の問題を選んだ場合は、ランダムに出題される。

⑤ 追加する

追加ボタンを選ぶ。



⑥ Q1の確認

Q1はに該当する問題が表示される。

⑦ 問題を外す

問題にチェックを入れ、「Q1 より外す」を選ぶ。「既存の問題から追加する」を選ぶと再度選びなおすことができる。

⑧ 完了処理

すべてのQに問題を関連付けたら「完了」を選ぶ。

⑨ 基本的事項の編集

問題の基本的な設定を変更するには「編集」を選ぶ。

3. ドリル登録



「準備画面メニュー」→「ドリル登録」

ドリルの基本的事項の登録と問題を割り当てる。 基本的事項:タイトルと問題数、合格ライン、問題のシャッフル、フィードバック (正解・解説)を登録し、問題を割り当てる画面に移動する。 問題の割り当て:各問題番号ごとに問題のデータベースから問題を割り当て る。複数の問題を割り当てた場合は未実施問題・誤答問題からランダムに出題 される。



① 新しくドリルを登録する

「新しくドリルを登録する」を選ぶと、新規作成画面が開く。

② バスケットを空にする

前回の授業で使ったバスケットを空にする。

③ バスケットに入れる

バスケットに入れるコンテンツをチェックして、「バスケットに入れる」を選ぶ。

4) 削除

チェックを入れたテストを削除する。ドリルが使用中のときはチェックが入っている。

⑤ コンテンツの修正

タイトルのリンクを選ぶとドリルの詳細が表示され修正ができる。

(1) ドリルの基本的事項の登録



① タイトル

ドリルの名称を入力する。このタイトルがドリルの名称になる。

② ドリルに関する内容

ドリルに関する全体的な説明や注意、制限回数や時間など、あらかじめドリルを受ける者に連絡する ことを入力する。

③ 合格ライン

ドリルは、受験後に得点がグラフで表示される。合格ラインはそのグラフに表示される。

④ 問題のシャッフル

シャッフルしない場合は、あらかじめ登録した順に第1問から出題。シャッフルする場合は、ランダムに出題する。

⑤ 解説等の表示

自動採点した後に、KR情報として正誤は自動的にフィードバックされるが他に、正解、解説を出す事ができる。一般的なドリルの場合で解説がある場合は解説を選択する。暗記的なドリルの場合は、正解を選ぶ。

6 登録

基本的な事項の入力が終わったら「登録」を選び、問題の選択画面に移動する。

(2) ドリル問題の割り当て

「ドリル問題の割り当て」は、テスト問題の割り当てと同じである。 「テスト問題の割り当て」を参照。